

茨城県北地域おこし協力隊員を新たに 3 名委嘱！！

- 茨城県では、県北地域において、首都圏等を中心とした地域外からの新しい視点で、県北地域の地域資源の活用や地域課題の解決につながるビジネス等を起こし、その成果を地域に広く波及させることができる人材を茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】(KENPOKU PROJECT E) として誘致し、地域経済の発展や雇用の創出に寄与することを目指しています。
- この度、令和 7 年 4 月 1 日付けで新たに 3 名委嘱し、その委嘱式を令和 7 年 4 月 1 日に実施します。また、委嘱状交付後に新隊員による活動内容についてのプレゼンテーションを実施しますので、是非ご取材くださいますようお願いいたします。
- 今回の委嘱により、隊員の現員数は 27 名となります。隊員には、斬新な視点と熱意と行動力で、県北地域に大きな刺激を与えることを期待しています。

今回新たに委嘱する隊員の概要

氏名	活動拠点	抱負（本人コメント）
	従前の居住地 活動内容	
 いの ゆうこ 猪野 裕子	日立市 神奈川県	海と山が素晴らしい日立市は、サステナブルで魅力的な地域だと感じています。 『ヒト・コト・モノを繋げ新たなシナジーを生み出し、イノベーションを巻き起こす』をビジョンに掲げ、この日立市から新しいカルチャーを発信できるようにしたいと思います。 特に 20 代~40 代の女性のキャリア形成や育成に力を入れ、新しい日立ライフを提供できるよう努めて参ります。
	日立市のライフスタイルを発信するメディア運営、地域密着型マルシェの運営、女性のキャリア育成事業	
 こじま ひでひさ 小島 英久	常陸大宮市 神奈川県	アフリカ南部の国で生活したり、様々な国を旅したりする中で触れたのは、地域コミュニティのつながりを大切にする生き方でした。困った時には支え合い、一人ではできないことはみんなでやる。人との関わりの中で毎日を生き生きと過ごす人々の姿に真の豊かさを感じました。目指すのはアフリカの互助の精神をコンセプトにしたコミュニティカフェです。そこから生まれる力で茨城県北地域を活性化していきたいと思います。
	アフリカを旅した元小学校教員による人と人とのつながりを創出するコミュニティカフェの運営	
 ながまつ りな 永松 梨奈	常陸太田市 東京都	2024 年の訪日客の消費額は 8 兆円を超え、今後も市場の成長が期待されています。その一方で、伝統工芸の職人や地域の生産者は、後継者不足や高齢化といった課題を抱えています。私は地域の皆様と協力し、インバウンド向けのプログラムの展開や、地域資源を活かした商品開発に取り組むことで、収益が地域に適切に還元される仕組みをつくり、伝統文化の持続可能な発展を目指します。自らも文化継承の一翼を担いながら、地域の魅力を高め、観光と産業の発展に貢献したいと思います。
	海外富裕層・VIP 向けの「おもてなし事業」 ・バイリンガル講師による茶道・着付けなどの本格的な伝統文化体験の提供 ・県北地域の魅力を海外へ発信するメディア運営	

委嘱期間 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日（最長3年まで延長可能）

委嘱式 日 時 令和7年4月1日（火） 午後2時00分から
場 所 茨城県庁10階 政策企画部会議室
出席者 猪野氏、永松氏、小島氏、県政策企画部県北振興局長

（参考）全隊員の活動拠点（今回の委嘱者を含む）

活動拠点	日立市	常陸太田市	高萩市	北茨城市	常陸大宮市	大子町	計
人数	16	6	0	1	3	1	27

■ 新規隊員の募集について

募集人数 若干名

募集の詳細はホームページに記載。希望者向け個別面談実施中！

https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kenpokusinkou/chiiki/project_e/bosyu.html

【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県政策企画部県北振興局 振興G 029-301-2715

担当：東理（内線2723）、日向寺、古谷、内田